



火災・救急・救助 119

消防瓦版

まとい
纏

No.436

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

歳末福祉パトロールの実施！

令和6年12月に歳末福祉パトロールを実施しました。この活動は、占冠村民生委員児童委員協議会が行っており、占冠支署からも担当職員が出席しています。高齢者世帯の健康確認や火気使用状況の確認を目的としており、今回は11世帯のお宅に訪問しました。火災発生の可能性が高いこんろ周りやストーブ、仏壇、電気器具類などを中心に確認していますが、火災はいつ、どこで起きるか分かりません。日常生活において火災の原因となる可能性のある場所を確認しておくことで火災を未然に防ぎ、安心・安全な占冠村をめざしましょう！

＜注意事項＞

こんろ	着衣着火に注意し、周りに物を置かない。離れるときは必ず火を消す。
電気器具類	コード類の取り扱い、たこ足配線等に注意する。
たばこ	寝たばこは絶対しない。火は必ず消す。
ストーブ	定期的な点検、整備を行う。給油、移動は特に注意し、周りに物を置かない。

★火災の早期発見には住宅用火災警報器（住警器）が非常に有効です。設置されていない世帯は設置するようお願いします。また、住警器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあり大変危険です。10年を目安に交換しましょう。

救急出場状況 (12月分)

交通事故 3件(3人)
労働災害 1件(1人)
一般負傷 12件(8人)
急病 14件(14人)

12月計 30件(26人)
累計 217件(189人)
※()内は搬送人員



野生動物対策の状況

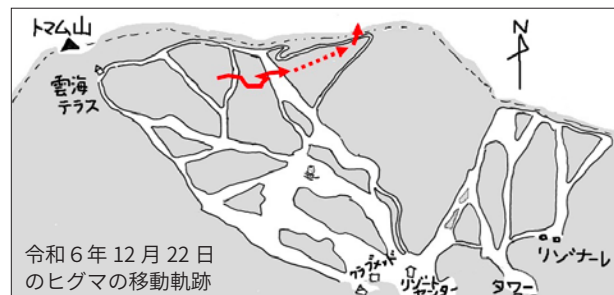
農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174



ヒグマ

トマムのスキー場で12月22日の営業時間中にヒグマ1頭の目視情報がありました。スキー場の係員さんらがすぐに当該コースを閉鎖して安全を確保するとともに、村役場に連絡をいただき、最初の目視から25分後には野生鳥獣専門員が警戒態勢で現地を確認できました。ヒグマは稜線を越えてスキー場の北に去っており、目視に至る前の痕跡から一過性の移動途上であった可能性が高く、今後当面の危険性は低いと判断しました。現地の皆さま、ご対応ご協力ありがとうございました。

にぎやかなトマム山もヒグマは嫌がらないのか、夏は採食を交えて過ごし、冬も横切ったり冬眠したりしています。偶発的な活動情報はおそらく氷山の



一角で、日頃から潜在的にヒグマと隣り合っているとみるべきでしょう。これまでのところおおむねヒグマ任せで事故はありませんでしたが、日頃から気付いたときに事の程度によらず小まめに対応していくことで、当地の環境やヒグマのことを学ぶ機会が得られ、緊急時に備えた私たちの対応体制が鍛えられるものと思われます。3月あたりからはまた警戒レベルを上げてまいります。

来る2月15日に開催予定の第8回占冠村ヒグマミーティングでは恒例の研究報告のほか、リゾートエリアでの過去の対応状況や、北海道のヒグマ管理計画改定に伴う今後の展望など、盛りだくさんの内容で議論を盛り上げていきたいと思ひます。詳細は広報折り込み資料、村ホームページをご覧ください。



エゾシカ

12月中旬から1月中旬にかけてシカの姿をほとんど見かけませんでしたが、以後少しずつ山裾に降りてくるようになっています。

12月は駆除10頭、猟区利用で3頭を捕獲しています。



スキーを履いて捕獲個体を搬出(字占冠1月)



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～トマム学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

寒さの厳しい季節となりましたが、トマム学校では、地域の皆さまに協力いただきながら学習を進めているところです。

前期課程生はトマムコミュニティセンターで開催された占冠村社会福祉協議会のふれあいもちつき会に参加しました。保育所の園児や地域の方と一緒に餅をついて、おいしく食べました。後期課程生にはお餅のお土産をいただきました。餅づくりを通して、子どもたちと地域の方たちが仲良く話す様子が見られました。



ふれあいもちつき会



情報モラル教室

また、占冠村役場の佐々木智猛さん(e-ネットキャラバン講師)をお招きしてネットトラブル(ネット依存、ネットいじめ、誘い出し、なりすまし、ネット詐欺など)の学習をしました。前期課程生と後期課程生に分かれて1時間ずつ学習しました。子どもたちは、講師の話进行事として聞いており、情報社会を生きていくために気を付けなければならないことを学ぶことができました。

体育や学習の成果を発表する「チャレンジ発表会」があり、地域・保護者の皆さまにその様子を参観いただきました。体育では、アスペン市の中学生との交流のために練習した南中ソーラン(よさこい)を見ていただいた後、前期課程生は一輪車や縄跳び、パンブーダンスを、後期課程生は4月からマイチャレンジと題して取り組んできた個人技と、「学園天国」のダンスを披露しました。学習では、1年生は自分たちで脚色を加えた国語の音読を、2年生は詩の暗唱を、3年生は社会見学のまとめを、5年生は工夫を加えた絵本の音読を、後期課程生はコミュニティ・スクール議会の成果を発表しました。それぞれの発表に地域・保護者の方から温かい感想をいただきました。たくさんのお力添えに心から感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。



CS議会の成果発表



パンブーダンス



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

バックカントリー遭難の防止 ～雪山には常に危険が潜んでいる～

無理のない行動計画と登山計画書の提出

自分の技量に応じて山を選び、不測の事態に備えたゆとりのある日程の登山計画書を作成し、家族や職場等の身近な人に渡しておくほか、最寄りの警察署または交番・駐在所に提出しましょう。

万全な冬山装備の準備

冬山登山の装備不備は、最悪の事態を招く恐れがあります。天候の急変にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えた食料、燃料等を用意し、万が一に備えた連絡手段として携帯電話を携行しましょう。

気象情報等の事前確認

入山前には最新の天気予報を確認するとともに、雪崩の危険性についても確認し、慎重に行動しましょう。

スキー場の注意事項の遵守

スキー場管理区域外滑走は、滑落や転倒、雪崩、立木への衝突などにより遭難する危険性が高いため、スキー場の注意事項を遵守しましょう。

悪天候時は無理をしない

暴風雪や大雪などの視界不良時は、登山の延期または途中で引き返すなど、無理をしないようにしましょう。

